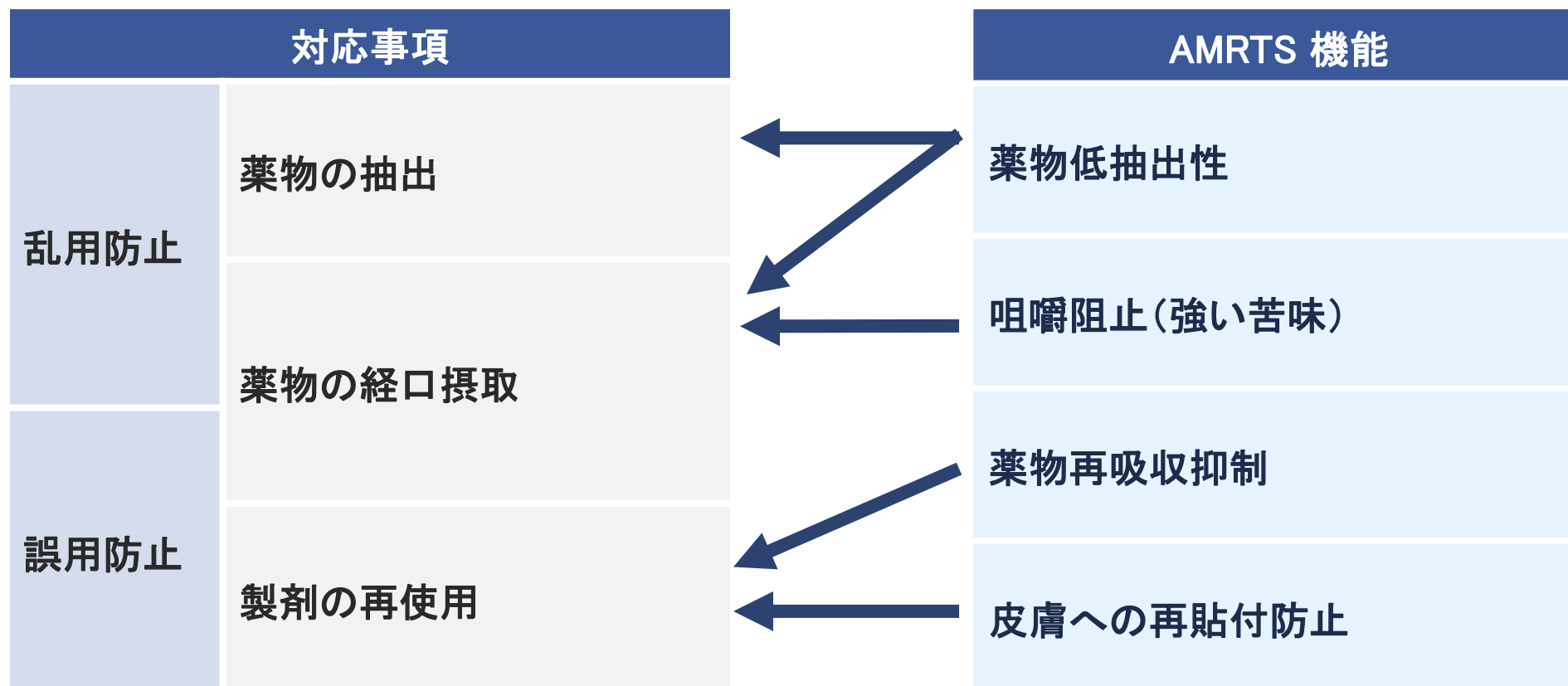


MRX-10XT (オキシコドン経皮吸収製剤)



- 米国オピオイド市場において最大シェアを占めるオキシコドンを用いて経皮製剤化
 - 1日2回経口投与(現行最大シェア) vs. 1日(or 3日)1回経皮投与
 - オピオイド乱用・誤用の抑制・防止を目的としたメドレックス独自の製剤技術 “AMRTS®”

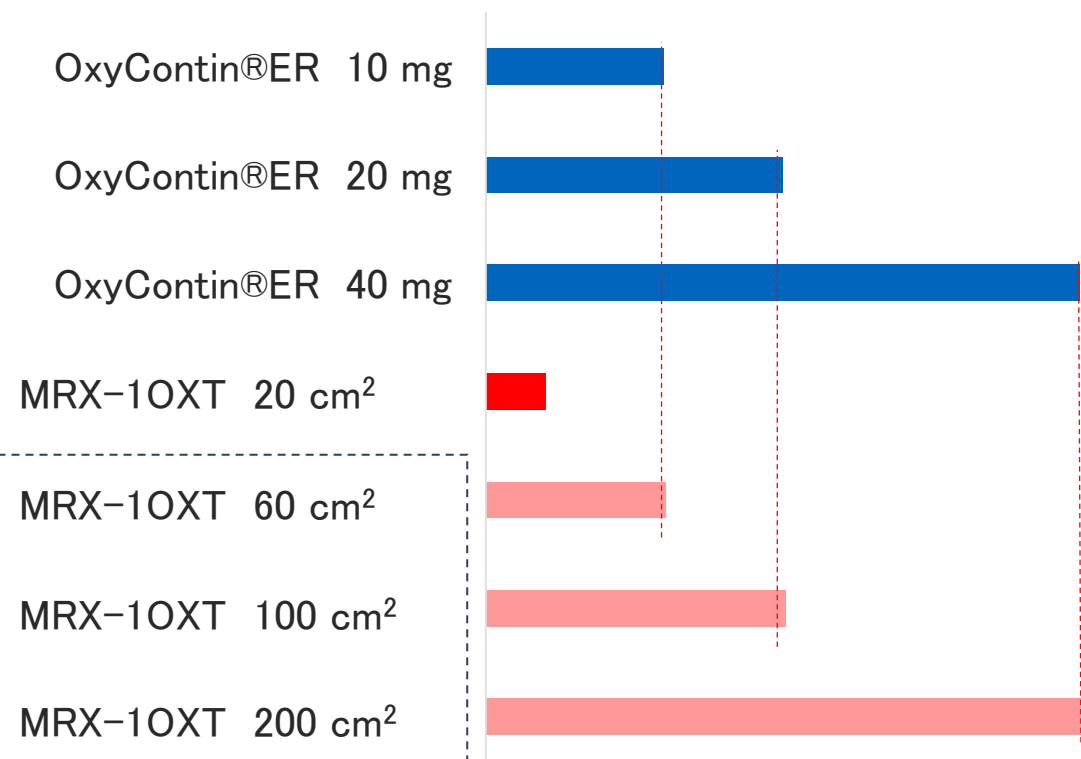


MRX-10XTとオキシコドン経口徐放製剤との血中薬物濃度の比較およびシミュレーション結果

青カラム : オキシコドン経口製剤で維持されている血中濃度レベル

赤カラム : MRX-10XTフェーズ1試験データ

赤点線 : ターゲットとすべきオキシコドン血中濃度レベル



MRX-10XT 臨床試験データからのシミュレーション

血中オキシコドン濃度レベル

【米国フェーズ1試験】

健常者男女16名の被験者に対し、

- OxyContin®ER 10mgを1回投与
- MRX-10XT 1枚を24時間もしくは2枚を72時間貼付投薬後、適時採血して血中濃度を測定するとともに皮膚刺激性の有無など安全性を確認した。

【試験結果】

- MRX-10XTは、当初の目標通り、疼痛治療に十分な血中薬物濃度をパッチサイズに応じて実現できる可能性が高いことが示された。
- MRX-10XT投与群において、特記すべき副作用は観察されなかった。